

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1409号 1998年02月02日(月)

《 FOMC on Tuesday 》

クリントンのセックス・スキャンダルは新事実もないしちょっと材料にするには飽きた、アメリカの景況も先週のグリーンパンの議会証言を聞けばまずしばらくは大丈夫、日本でも新しく大蔵大臣が決まってその手腕が出てくるのはこれから、相場もちょっと上下動きにくい……と空白感のある週明けのような雰囲気とする。まあ、その通り進むかどうかは別にして。

まず予定を見ておきましょう。

2日(月曜日)	1月の全米購買部協会(NAPM)景気指数 1月の日本の新車登録台数 12月の米個人所得・支出統計
3日(火曜日)	<u>米FOMC(4日まで)</u> ルービン財務長官、上院財政委員会で予算教書について証言 Conference Boardの12月の景気先行指標
5日(木曜日)	ドイツ連銀理事会 12月の米工場受注
6日(金曜日)	<u>12月の米雇用統計</u>

3日からのFOMCについては、「据え置き」との見方が圧倒的で、筆者もそう見ます。景気は引き続き底堅く、それほど強いものではないものの労働需給に逼迫の兆しが見える。従って、緩和のシナリオは描けない。しかし一方で、技術革新の著しい進展とアジア通貨の対ドルでの大幅減価からくる米経済へのデフレ圧力の影響はこれからと言うことで、予防的に利上げをすることもできない。

むしろFOMCでは「現在のアメリカの経済環境」、とくに「物価情勢をどう見るか」に関心が集まるでしょう。アジアの危機によるデフレという外的要因以上に、技術革新がもたらしている物価環境の変化に関して討議が行われる可能性が大です。1月3日にグリーンパンがシカゴで提起した問題で、多分結論は出ず検討継続ということになる。今週はアメリカ経済に関しては、二つの重要な指標が出ます。NAPMと雇用統計。所得・支出な

どその他のいくつかの指標も出る。

《 some criticism form Republicans 》

クリントンのスキャンダルに関しては、事件そのものに大きな進展はありません。スター特別検察官も、決定的な証拠の獲得で行き詰まっている。ルインスキーさんとスター特別検察官の免責に関する話し合いはうまく進展していないようで、またルインスキーさんの弁護士の口からは彼女との電話を録音したリンダ・トリップの一連の証言（ルインスキーとクリントンの電話の一部を聞いた、といった）を否定する発言も出てきている。

ただし、今までこの問題に目立った動きを示していなかった共和党のサイドからやや動きが見える。2000年の大統領選挙に狙いを定めているフォーブスなど何人かの議員が、「倫理」を前面に出したクリントン批判を開始した。しかしこれはホワイトハウスからもアメリカのマスコミからも

「選挙目当て」

「売名行為」

と見られているようで、事実共和党の首脳は動いていない。

今回のクリントン・スキャンダルに関してはアメリカ国内でもマスコミのあり方などに強い批判があるようですが、私が読んだ範囲では一番面白い解説をしていたのはフランスの新聞でした。これはニューヨーク・タイムズに載ったものです。

「 France, a country used to presidents with mistresses, and even children by those mistresses, viewed the scandal with amused contempt. "Wanting to know everything about a man is an essentially totalitarian practice," Jean-Francois Bege wrote in an editorial in the French daily Sud-Ouest. "It is this puritan tyranny which sometimes imbues the beautiful American democracy with an unfortunate resemblance to police states." 」

下線は私が付けました。『ある男性に関してそのすべてを知ろうとするのは、基本的には「全体主義国家のする事」であり、時としてアメリカの美しい民主主義に、警察国家もどきの不幸な汚点を付けてしまうのはこのピューリタンの専制主義である』とフランスの新聞は解説している。

蔵相の交代をきっかけに日本の経済政策がどう変わるかは大きな関心を集めるでしょう。既にバーシェフスキー通商代表、ルービン財務長官というクリントン政権の有力経済閣僚二人の口からは、日本の「約束違反」に関する強いメッセージが出ている。日本の蔵相交

代を契機に日本に政策運営の変更を促そうとしているものと思われる。大蔵省が各種のスキャンダルで今まで財政再建方針を転換してくる可能性もあると読んで、この好機をうまく使いたいとの意向がアメリカ政府にはあるのかもしれない。

松永蔵相が本格稼働するまで、日本の経済政策も少し動きを止めるでしょう。株式市場が小康状態になっているため、新たな政策発動の緊急性は現時点では低下している。2月末のG7を控えて、今月末から新たな動きが出てくるものと考えられます。

〈 have a nice week 〉

週末は天気は良かったのですが、寒かったですね。二日ともちょっと外出したのですが、気持ちよく寒かった。まあ2月ですから。しかし、2月になれば冬も終わりが近い。

ところで、最近は長いのが多かったので、今日は短めに.... したいと思ったのですが、一つちょっと長めのコンピューター関係の情報を。

「2000年問題なんて他人事」だと思っていましたが、極めて身近にありました。これは私のインターネットのページにも書いたのですが、自宅にパソコンを持っている人は要注意です。特にちょっと古めの。我が家には古いのも含めて、パソコンが4台あるのですが、調べた結果うち2台に実際に「2000年問題」があることが判明しました。具体的には、APTIVA740、Compaq410cx で、今のままでは2000年に移行できない。対応が必要だったのです。

これはある方から教えてもらったソフトウェア（ただしDOSパソコンにのみ有効かもしれない）ご使用の際はチェックをでチェックして分かったもの。チェック事項は二つです。

1. 自分のコンピューターが1999年12月31日から2000年1月1日にうまく進めるかどうか
2. 2000年以降のうるう年 (leap years) をうまくサポートしているか

ソフトウェアは、http://www.nstl.com/html/ymark_2000.html にあります。このソフトを作ったのは「NSTL」(National Software Testing Laboratories) で、マグローヒルの子会社。非常に軽いソフトウェアで、インターネットのサイトに渡って「YMARK2000」の絵をクリックすると「名前を付けて保存」の指定を求めてきますから、それをダウンロードすれば良い。

その上で何をするかというと windows 95 の場合は

1. このプログラムをドライブCへコピーし、DOSモードすなわち、「スタート Windowsの終了 MS-DOSモードで起動」の作業を行う
2. DOSモードにし、「C: ¥2000」と入力後 Enterする
3. このプログラムを使用することの条件を了承するかを聞いてくるので、「Y」を入れる

結果はしばらくして出ます。診断終了後は E X I T を入力後 E n t e r にて E X I T し
ます。まず、もっとも新しく買ったソニーの VAIO705 でやってみたら、

「This system correctly supports the Year 2000.」

と出た。大丈夫と言うことです。Windowsnt4.0 が入っているマシンを試そうとしたら、
これは Ms-Dos Mode へのやり方が不明で分からない。NT は DOS の制約から開放され
ていたかもしれない(よく知りません)。まあ、これも大丈夫でしょう。そこで残る二台
の windows95 マシンを調べました。そしたら APTIVA740 にはまず次のようなメッセー
ジが出てきました。

「Real-time progression to Year 2000 fails.」

つまり対応していないと言うことです。さらに鑑定結果と対応に関して、次の文章が出
てきました。

「This system will not automatically transition to the Year 2000, but
the system will support the year 2000 once the date is set manually. This
is less than ideal since corrective user intervention is required, only once ,
when the Year 2000 arrives. Do not use this system to run date sensitive
software that must run 24hrs a day, such as voice messaging or
satellite tracking.」

2000年になって除夜の鐘を聞いたらコンピューターの時計をあわせ直せ.....とい
うことです。「voice messaging」や「satellite tracking」には使っていないので問題ない
のですが。

さらに私が持っている一番古いコンピューターである Compaq410cx をチェックしてみ
たら、2000年への移行に関して上の指摘が出たのに加えて、今度は2000年からの
leap years に関して次のメッセージが出ました。

「The leap years in the 21st century are not supported. This indicates
that the hardware clock does not support leap years. There is no reliable
fix to this problem. The system board will most likely to be replaced.」

ボードを取り替えなければダメと言うことです。このソフトウェア会社の Q AND A コ
ーナー (http://www.nstl.com/html/y2k_faq.html) を読んでいたら、いろいろ書いてあり
ます。

主要メーカーの2000年対応に関する情報は以下にあることが判明しました。

I B M のサイト <http://www.ibm.co.jp/ad2000/>

N E C のサイト <http://www.sw.nec.co.jp:10080/home.html>

富士通のサイト

<http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/fmworld/support/fm2000/index.html>

コンパックのサイト <http://www.tandem.co.jp/support/y2000/index.html>

他のメーカーもそれぞれサイトを持っていると思います。ちょっと先の話ですが、自分のコンピューターの standing がどこにあるかはチェックしておいた方が良いでしょう。2000年問題は、決して他人事ではないと今週末は思いました。今回のテストはハードディスク(c drive)のみを対象。古いソフトウェアにはいろいろ問題がありそうです。

未対応のコンピューターは、ほっておくと2000年を1900年と理解するわけです。100年遅れる。私の場合、APTIVA740 と Compaq410cx の二台のコンピューター君は2000年を「1900年が始まった」と思って新たな年を迎えるわけです。..... この愚か者めが(°-°)(°-°)、100年も遅れておるぞ.... というわけ。

今週は仙台にちょっとお伺いします。それから、このコーナーのレストラン紹介がない..... と嘆いておられる方(特に女性)が多いそうですが、最近は私のインターネットのサイト(<http://www2.gol.com/users/ycaster/eating/index.html>)は写真付きで拡充しています。レストランをお探しの皆さんはそちらで。

では皆様には良い一週間を